

平成26年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1. 集落協定の概要

都道県名：沖縄県

市町村名：北中城村

協定締結集落名：北中城村漁業集落

交付金額：3, 149千円

協定参加世帯数：45人（うち漁業世帯38人）

集落漁業者平均所得：493, 687円

2. 協定締結の経緯

北中城村は起伏に富んだ丘陵地が多く、そこから流れる河川から豊富な栄養分を含んだ水が流れてくる良好な漁場環境を有しており本村の漁業者にとって貴重な漁場である。本村の漁業については、中城湾口熱田地区周辺の干潟において、アーサ（ヒトエグサ）の養殖が盛んである。しかし近年は、漁業者の高齢化やアーサ収穫量の減少による漁業所得の減少などにより本村水産業は低迷の傾向にある。

このため北中城村は漁業の基盤となる漁場の保全や利用に関する話し合いを通じて漁場の合理的な利用、漁場環境の保全活動による生産力向上の為の取組を実施するとともに、イベントの実施、体験漁業への取り組み、高付加価値化商品の開発等の創意工夫を活かした新たな取組を実施し、漁業者の所得向上及び漁業者数の増加を目標に離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むことにした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

・アーサ養殖網の増設

北中城村美崎地区の干潟に集落構成員で共有のアーサ養殖網を増設。



「アーサ鉄筋設置」



「アーサ養殖網設置」

- ・ 海岸清掃

平成26年10月、平成27年3月の2回に分けて清掃活動を実施し、海岸、護岸の環境美化に取り組んだ。



「海岸清掃」

②集落の創意工夫を生かした取組状況

- ・ イベントの実施

村内のイベントへ積極的に参加するとともに、独自にイベントを開催。



「北中城まつりでの販売」



「直売イベント」

- ・ 体験漁業の実施

北中城村立島袋小学校の生徒を対象に、アーサ収穫体験を実施した。



「アーサ収穫体験の様子1」



「収穫体験後のアーサスープ試食」

・高付加価値化商品の開発

平成27年2月にイオンモール福岡において、既存のアーサスープの商品と新商品アーサスープのサンプルの試食会を実施し、アンケート調査を行った。



「試食会の様子」



「アンケート調査」

アーサスープに関する商品アンケート

● アーサ(アオサ、ヒトエグサ)を知っていますか
 1. 知っている 2. 知らない 3. 聞いたことはある

● スープの味はどうか
 1. 濃い(しつぱい) 2. 薄い 3. ちょうど良い

● このような即席スープはどのくらいの頻度で飲みますか
 1. 毎日 2. 週に2〜3回 3. めったに飲まない 4. その他 ()

● いつ飲まれますか
 1. 朝食 2. 昼食 3. 夕食 4. 夜食

● 含まれている食品添加物は気になりますか?
 1. 気になる 2. 気にならない

● 土産品に産していると思えますか?
 1. 産している 2. 産していない 3. その他 ()

● 価格はどう思いますか?いくらなら購入しますか? (1袋あたり25g入)
 1. 高い 2. 適正 3. 安い
 1. 500円以内 2. 千円以内 3. 千円以上 (希望価格 P1)

● 内容量はどうか?何個入りなら買いやすいですか?
 1. 多い 2. 適正 3. 少ない 個数: () 人)

● パッケージデザインはどうか?商品を見て買いたと思いますか?
 1. 買いたい 2. 買わない

● 購入の際、何を重視しますか?
 1. 味 2. 価格 3. 生産地 4. ブランド 5. その他 ()

● 商品に関するご意見があればお聞かせ下さい (どのような改良が必要か?)

回答者 男性・女性 年齢 (20代・30代・40代・50代・60代・70代) 家族構成(人数) _____名

「アンケート調査用紙」

□ アンケート回答者

合計：257名（男性61名、女性196名）

4. 取組の成果

- ・アーサ養殖網の増設

集落構成員共有のアーサ養殖網（100枚）を設置、増設することで集落構成員がした養殖網を利用した。又、今年度は、アーサの色づきが悪い網について、硫安（肥料）の投入を行ったことで、色合いが改善された網も見受けられたが、肥料の導入による色合いの改善なのか具体的な原因が把握できていない現状である。

- ・海岸清掃

海岸、護岸清掃を年2回実施し、2,08tのゴミを収集し処理した。清掃を通して、漁業者の景観に対する意識の向上、漁場及び養殖網修繕場の管理意識の向上が期待される。

- ・イベントの実施

村まつりへの積極的な出店や、集落主催のイベントを開催することで、村内外の消費者に対して北中城村産アーサのPRができた。又、今年度は、漁業者が収獲した魚の直接販売を実施し、認知度が少ない本村の漁業のPRができた。

- ・体験漁業への取組み

村内の小学生を対象に収穫体験を実施することで、子どもたちに本村の特産品の認知度を高めるとともに、家族への周知も期待される。又、近年、新規漁業者が減少している中、漁業に対する意識の向上にも繋がった。

- ・高付加価値化商品の開発

試食会及びアンケート調査で、フリーズドライタイプの商品を提供し、食味、価格帯、包材、量（一個当たり）、個数等についてデータ収集ができた。今年度はアンケート調査の実施のみとなったが、この調査を基に、関係機関と連携した高付加価値化商品の開発が期待される。

平成26年度 離島漁業再生支援交付金 実施状況

市町村名 北中城村

1 集 落 協 定 締 結 数	協定締結集落名		北中城村漁業集落			合計	
	一般・特認の別					0	
	協定を策定した漁業集落数※ ①		1			1	
	協定参加世帯数		38			38	
	うち漁業世帯数		38			38	
	交付対象漁業集落数※ ②		1			1	
実施集落率 ①／②%		1				1	
2 集 落 協 定 に 位 置 づ け ら れ た 活 動 内 容	漁場の生産力の向上に関する取組					0	
	種苗放流					0	
	漁場の管理・改善					0	
	産卵場・育成場の整備					0	
	水質維持改善		1			1	
	植樹、魚付き林の整備					0	
	海岸清掃		1			1	
	海底清掃					0	
	漁場監視		1			1	
	その他		1			1	
	創意工夫を生かした取組					0	
	新たな漁具・漁法の導入					0	
	新規漁業への着業					0	
	新規養殖業への着業					0	
	協業化による経営収支の改善・安全性の向上					0	
	低・未利用資源の活用					0	
	品質の均一化に向けた取組					0	
	高付加価値化		1			1	
	流通体制改善					0	
	簡易加工					0	
	海洋レジャーへの取組					0	
	伝統漁法の取組					0	
	漁労技術の向上の取組					0	
	販路拡大					0	
	その他		2			2	
3 交 付 金 額 と そ の 使 用 方 法 （ 単 位 千 円 ）	交付金額(千円)		3,149			3,149	
	うち前年度からの繰越額		0			0	
	当 該 年 度 の 交 付 金 の 使 用 方 法	集落協定の管理体制における担当者の報酬		0			0
		交付事務の委託料		362			362
		話し合い・備品に関する経費		0			0
		漁場の生産力の向上に関する取組に要した経費		1,679			1,679
		種苗放流		0			0
		漁場の管理・改善		0			0
		産卵場・育成場の整備		0			0
		水質維持改善		8			8
		植樹、魚付き林の整備		0			0
		海岸清掃		262			262
		海底清掃		0			0
		漁場監視		34			34
		その他		1,375			1,375
		創意工夫を生かした取組に要した経費		1,108			1,108
		その他雑費		0			0
		繰越額		0			0

※ 「漁業集落数」とは、漁港を核として、当該漁港の利用関係にある漁業世帯の居住する範囲を、社会生活面の一体性に基づいて区切った範囲のうち、漁業世帯が4戸以上存在するものを計上する。(2003年(第11次)漁業センサスに準拠)